

11/14

日本一の米の匠「遠藤五一氏」による農業経営者人材育成講演会を実施

町では、株式会社舞台ファームと連携して行なっている農業経営者人材育成事業の一環として、山形県上和田有機米生産組合顧問であり、日本一の米の匠といわれる遠藤五一氏を講師に招き、農業経営者人材育成講演会を開催しました。「健康な土づくりとは？」と題した講演会には、60名を超える農業関係者が参加しました。

土づくりを通して、昨今の地球温暖化による気象変動によって引き起こされる農作物の品質劣化・障害・病気に対し、農業者がどのように立ち向かうべきかなど、有機農業に先進的に取り組む視点・経験からの講演に、多くの参加者が聞き入っていました。



講演を行う遠藤氏



遠藤氏の講演に耳を傾ける参加者の皆さん

11/19

境・五霞戦没者合同慰霊祭を開催 境町・五霞町の戦没者を追悼

さしま斎場にて、令和元年度境・五霞戦没者合同慰霊祭が行われました。戦後74年を迎え、境町・五霞町の遺族など45名の方が参列され、戦没者を追悼しました。

また、一般財団法人茨城県遺族連合会をはじめ、境町長、五霞町長、境町議会議員、五霞町議会議員など多くの来賓がご参列され、追悼の意を表しました。

なお、さしま斎場には猿島郡内戦没者の「忠霊堂」が建立されています。



祭文を奏上する境町戦没者遺族会堀江会長



戦没者に哀悼の意を表す橋本町長

11/10

多国籍料理を食べながら交流！ 8カ国67人参加でランチフェスティバル

中央公民館において、国際交流友の会「さ・か・い」(石原ヒロ子会長)主催のランチフェスティバルが開催され、日本語教室の生徒など8カ国67人が参加し、国際色豊かなランチを楽しみました。普段の日本語教室とは逆の立場で、生徒が先生となり、料理を教えながら、インドネシアのチキンカレーなどを調理し、食事をしました。他国の食文化を体験することで、他文化への理解を深める貴重な交流会となりました。



豆腐と肉団子のスープ(タイ)、チキンカレー(インドネシア)、さしま茶ドレッシングのサラダ(日本)などの料理



ランチフェスティバルに参加した町在住の外国人と地域住民の皆さん

11/15

町内全小中学校で税の仕組みを学ぶ「租税教室」を開催

古河税務署管内租税教育推進協議会では、児童生徒たちに税の意義や役割を正しく理解してもらうため、町内全小中学校で、毎年租税教室を開催しています。

11月15日には、長田小学校の6年生を対象に、古河税務署の平井事務官を講師に迎えて、租税教室が実施され、税について学べるDVDの観賞や、税に関する質疑応答などが行われました。



長田小6年生に授業を行う古河税務署平井事務官

租税教室の感想



●長田小6年生 内海 怜子さん

税金を学べるDVDがとても分かりやすく、楽しく勉強することが出来ました。税金が無くなると社会が大変になってしまうことが分かり、大人になったら税金をしっかり納めていきたいです。

TOPICS 境町心身障害児者父母の会特集

12/8 「クリスマス会」を開催

境町心身障害児者父母の会は地域の皆様の協力を得ながら、共生社会を目指して活動しています。その活動の一環として、境町社会福祉協議会にて、毎年恒例の「クリスマス会」が開催されました。

このクリスマス会は、ボランティア連絡協議会の皆さまや、境ライオンズクラブ、父母の会の皆様の協力で運営されています。

当日は、ボランティアによる発表会や、サンタクロースからのプレゼントなど内容盛りだくさんで、会場全体が笑顔あふれる一日となりました。



皆さんが楽しくダンスをしている様子

10/22 「花いっぱい運動」を開催

障害者交流センター「あけぼの会館」にて、「花いっぱい運動」が開催されました。

今年で14回目を迎えたこの活動は、在宅の知的障害者の社会的生産能力の向上、および社会参加や自立の促進を図ることを目的とし、県の知的障害者ボランティア活動参加促進事業として実施されています。

当日は、父母の会、境特別支援学校の境地区PTA、NPO法人メダカの会(放課後等デイサービス事業所「プーさんの家」)から、合計22名が参加し、プランターにチューリップやスイセンの球根を植える活動を行いました。



「花いっぱい運動」参加者の皆さんでの集合写真

10/7

新たな子育て支援施設を増築 「S-work+kids(仮称)」起工式を開催

境町親子ふれあい館「キッズハウスさかい」において、新たに増築される子育て支援施設「S-work+kids(仮称)」の起工式を開催しました。対象年齢が3歳未満である「キッズハウスさかい」に、利用者からの要望に応え、小学校低学年までを対象とした2階建ての子育て支援施設を増築します。

室内には大型遊具を設置するほか、女性に活躍の場を提供するためのコワーキングスペースを設置し、子どもを遊ばせながら働ける環境を整備します。



鉄入れの様子。左から(株)篠原工務店 篠原代表取締役、橋本町長、(株)WakanaDesign 一級建築士事務所 鈴木代表取締役



「S-work+kids(仮称)」の完成イメージ図

10/5

認知症の正しい理解を広めたい！ 「RUN 伴いばらき in さかい」開催

昨年に引き続き、今年で2回目となる「RUN 伴いばらき in さかい」が開催されました。

「RUN 伴」とは、認知症の正しい理解を広めることを目的に、全国各地で開催されているイベントで、認知症の方やその家族、支援者、地域の人々がリレーをしながら、一つのタスキをつなぎゴールを目指します。

今年も町内の介護事業所スタッフなど約40名のランナーが参加し、デイサービスセンターめぐりを出発、認知症カラーであるオレンジ色のTシャツを着て、地域の方々へ認知症の正しい理解について普及啓発を行いながら、道の駅さかいまでタスキをつなぎました。



「RUN 伴いばらき in さかい」に参加した皆さん